

平成27年度 全期 事業評価書

評価対象期間	平成27年4月～平成28年3月分
施設名	鳥取市歴史博物館
指定管理者名	公益財団法人鳥取市文化財団
指定管理期間	平成23年4月～平成28年3月
施設所管課名	教育委員会事務局文化財課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	4	4	聞き取り	館の管理及び運営に関する協定書、仕様書を基本に実施している。 朝礼、週例で情報の共有を図るとともに、課題等については施設長会議に諮り、課題解決を図っている。
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	聞き取り	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	4	3	聞き取り	学芸員の資質向上のため、「文化財虫害・保存対策研修会6/10-6/12」へ派遣した。 人権教育として行政 関係部会職員対象研修会(11/26.27)、第30回人権啓発研究集会(大阪2/4.5)への参加及び外国人に対するおもてなし向上のため中国語研修(7/8)、韓国語研修(10/21)、英語研修(1/21)を受講し、職員の資質の向上を図った。 また、救急救命講習(3/8)を実施し、救命技術の向上を図った。
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞き取り	
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	4	3	書類	月別入館者数をグラフ化し、入館者の傾向を施設長会議で共有し、入館者増への対策を検討実施した。
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切		
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	聞き取り	禰谷ホテル鑑賞期間にホテルの会に協力していただき、夜間開館(5/26-6/3)を実施し、多くの方に入館できる体制をとり、地域活性に貢献した。 花のまつり(4/29)、木のまつり(11/3)に参加し、鳥取市の文化・歴史を広め、郷土愛の醸成に努めた。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	4	3	聞き取り	入館者にアンケート記入していただき、その内容をチェックし、職員全員で内容を共有し、問題点を協議した。
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞き取り	入館者アンケート等の協議をもとに改善に努めた。
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	聞き取り	博学連携事業チラシ配布実施。学校からの依頼が増加した。 新聞、チラシ等の広報拡充、市報等の活用、市内各店舗へのPR活動をはじめ、老人施設、デ-サービス等へ出向くなど、館情報の積極的な提供を図った。また、ホテル鑑賞にあわせ夜間無料開館とし、利用者拡大に努めた。 喫茶の当館企画への積極的参加とともに、図録見本等を配置し、販売促進と入館者増に努めた。

II. 施設の維持管理の実施状況					
11	清掃・衛生管理は適切に行われているか	4	3	聞き取り	常に衛生管理、整理整頓に努めるとともに、文化財害虫のモニタリングを月1回チェックして、害虫発生等の監視を行っている。 また、シャッター等に防虫対策用ブラシを取り付け、害虫等の進入防止を図るとともに、館裏ドライエリアに防虫・枯葉落下防止ネットを取り付けた。
12	備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	4	4	聞き取り	委託業者による保守点検はもとより、職員が日々巡回し目視による点検を行った。修繕箇所が判明したものは早期に対応した。 6/2に風除室強化ガラスが破損(原因不明)したが、緊急修繕とともに昼夜の警備員配置等を図り、入館者への配慮と館蔵資料の適正管理に努めた。 駐車場についても引続き隣接家屋への配慮、適正利用など適切な管理に努めた。
13	消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞き取り	
14	再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞き取り	
15	点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	4	4	聞き取り	空調機器類(チラー)等で異常が発生したが、保守点検業者等と密に連絡を取り、緊急対応した。 常設展示機器類において老朽化に伴う作動不良が発生したが、その都度適切な処置を行うとともに、改修等に伴う協議を行った。
III. 施設の経営状況					
16	事業収支は妥当であるか	3	3	書類確認	
17	施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	4	3	聞き取り	室温管理、ケルビス、ウォームビスの励行を徹底し、空調電力を抑える努力を行った。また、発注による業者間の競争性で適正な入札実施を図り、経費節減した。
IV. 法令等の遵守状況					
18	個人情報の管理は適切に行われたか	4	3	聞き取り	お客様から預かった個人情報は目的以外には使用していない。また、個人情報に記載されたペーパーで不要になったものはシュレッダー処理した。
19	市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞き取り	
20	労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞き取り	
21	設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	聞き取り	
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	4	3	聞き取り	ホームページをリニューアルし、スマートフォン対応として、最新の情報を随時入れ替え、情報提供した。 また、職員が毎週交代して「やまびこのわ」を掲載し情報発信している。
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	4	3	聞き取り	調査結果は館が発行する「年報」で統計として、グラフなどで公開している。
24	市への報告体制が確立されているか	4	3	聞き取り	設置者に対し、毎月集計を報告するとともに、緊急の場合はもとより、報告事項等があれば、随時電話・メールにて報告協議した。
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	聞き取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	4	4	聞き取り	リスク・危機管理マニュアル、緊急連絡先を、職員がいつでも確認できる場所に設置し、有事に即応できる体制としている。 全職員名札の裏に「緊急時の行動」表を入れ緊急時に備えている。

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	<p>1.常設展示の老朽化が進むなか、主催事業とともに、共催・記念事業、さらに歴史散策等をはじめとする各種イベントを開催し、来館者の満足度の向上を図り、入館者増に努めた。</p> <p>2.博学連携事業に伴った学校等の連携と職場体験の受入れ、近隣町行政への広報依頼、老人施設、デ-サービス等へのPRなど、身近に立寄ることができる教育・文化施設としての歴史博物館の利用向上に努めた。</p>
施設所管課	平成25年4月に公益財団法人へ移行して以来、公益目的事業である指定管理施設管理運営及び埋蔵文化財業務とも順調に推移し、一定の剰余金を有しており、経営は安定している。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	<p>1.本年度は9本の特別展・企画展・パネル展等を計画し、入館増に努めた。鳥取東照宮の宝物、絵巻の世界等、各時代背景のなかで、鳥取を紹介した。昭和の戦争と鳥取では、戦後70年を迎える節目の中、鳥取と戦争との関わりと平和の尊さを考える展覧会となった。また、館内ロビー、県民文化会館を活用して講演会、講談等を開催し、市民文化の発展に貢献した。若桜鉄道展においては、開業85周年の歴史を紹介するとともに地域活性化に努めた。期間最終3日間で実施した、初の企画「やまびこ春まつり」は、3日間で2,308人の多くの入館となった。</p> <p>2.教育普及活動への参加率を高めるため、広報活動に努力した。</p>
施設所管課	<p>家康没後400年記念の「鳥取東照宮の宝物展」、若桜鉄道85周年記念の「若桜鉄道展」、戦後70年の「鳥取と昭和の戦争展」、姉妹都市10周年及び20周年記念事業等、周年記念をよく研究し、自主事業を計画、実施している。また、「荒木又右衛門と鳥取」展など、優れた特別展等を企画され、学芸員の力量を示している。特に、平成27年度は、特別展・企画展・その他主催・共催展の合計(常設展・貸館・夜間開館を除く)では、平成12年の同館開館以来の最高入館者数を記録しており、企画力のアップや地道な広報活動の成果が顕著に出ていると考える。</p> <p>常設展については、施設の特徴を活かした柔軟な運用に努めていただきたい。また、調査研究については、市の博物館・資料館の中核として、自発的な活動にさらに努力していただきたい。</p> <p>今後、市民等に関わられた博物館として、リファレンス等の集客以外の面にも注力していただきたい。</p>

4. 総括コメント

指定管理者	<p>1.常設展示パソコンのOSサポートが終了し、代替品もなく、故障時の対応が困難であることから、早急に改善措置を図る必要がある。</p> <p>2.ヒートポンプチラーの老朽化、内部の腐食が発生している。機器の更新が必要な時期と考えられる。H26年度、予防保全を目的として、今後の対応の必要性について鳥取市(教育委員会)へ報告を行っている。上半期は故障していたチラー2号機の三方弁、制御機器類等の修繕を行い、展示室、収蔵庫の適正な温湿度管理に努めている。</p> <p>3.特別展示室の開場日数(展覧会日数)を可能な限り増やし、常設展示室を補完して、入館者数の増加と満足度の向上に努めた。</p> <p>4.本年度の入館者数については、当財団指定管理施設全体で過去最高となる159,760人の入館となった。当館においても貸館、夜間開館、常設展示を除く、特別展・企画展等の自主事業においては、開館以来最高となる26,101人の入館数となり、市民サービスの向上とともに、歴史・文化の発展に貢献した。</p>
施設所管課	<p>平成12年の開館以来15年が経過し、施設や設備が老朽化したため、専門家等の意見を踏まえ見直し方針等を検討する予定である。</p> <p>同館の元職員との地位確認訴訟があり、元職員の復職が認められた。職員に対する指導育成面で課題があったと考えるので、その経過等を振り返り、再発防止に努めていただきたい。</p>

確認方法	書類、聞き取り、現地確認
------	--------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている

翌年度事業計画書	1/年	予定														末日	
		実施														2月29日	
		備考															
年間事業報告書	1/年	予定	末日														
		実施	4月30日														
		備考															

6. 事業・イベント等

項目	周期		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
常設展示		予定													
「鳥取の風土と人々の暮らし」「城下町鳥取」		実施	1～											～31	
		備考	707人	67人	142人	510人	59人	232人	353人	622人	0人	179人	0人	378人	
企画展		予定													
鳥取東照宮の宝物一家康と鳥取藩主池田家一		実施	17～	～17											
		備考	1,518人	2,000人											
鳥取東照宮の宝物		予定													
関連イベント（ギャラリートーク・関連事業）		実施	17.19.26	3.16.17											
		備考	141人	190人											
企画展		予定													
雅なる絵巻の世界-國學院大學の名品-		実施		23～	～21										
		備考		966人	2,339人										
雅なる絵巻の世界		予定													
関連イベント（ギャラリートーク・関連事業）		実施		24	13.21										
		備考		20人	160人										
ホテル鑑賞期間に伴う		予定			14～22										
絵巻の世界展夜間開館		実施		26～	～3										
		備考		436人	51人										
夜間開館コンサート		予定													
		実施		30											
		備考		56人											
特別展		予定													
昭和の戦争と鳥取		実施				18～	～30								
		備考				1,666人	3,733人								
昭和の戦争と鳥取		予定				17.18.19	8.16.29.30								
関連イベント（ギャラリートーク・講座）		実施				119人	311人								
		備考													
特別展		予定													
荒木又右衛門と鳥取		実施						12～	～25						
		備考						2,040人	2,399人						
荒木又右衛門と鳥取		予定													
関連イベント（ギャラリートーク・講座）		実施						13.22.23	4.11.18.25						
		備考						94人	187人						

【資料2】

施設名	鳥取市歴史博物館
-----	----------

1. 施設利用者数

項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	計画	実績								
入館者数(人)	27,000	38,042	28,000	22,614	30,000	44,045	31,000	33,815	32,000	28,714
研修室(人)		404		373		532		391		339
特別展示室(件)		4		1		2		4		2

2. 事業収支

項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	計画	実績								
指定管理料	145,448,000	145,448,000	145,448,000	145,448,000	145,448,000	145,448,000	145,448,000	149,603,657	145,448,000	149,603,657
事業収入	1,100,000	2,056,356	1,100,000	1,972,802	1,100,000	1,773,036	1,100,000	2,147,166	1,100,000	2,152,790
入館料収入	2,200,000	1,663,317	2,200,000	1,737,561	2,200,000	1,619,824	2,200,000	2,354,880	2,200,000	1,811,480
使用料収入	300,000	575,130	300,000	166,350	300,000	641,450	300,000	860,020	300,000	219,670
補助金収入	0	5,428,500	0	13,605,900	0	1,973,685	0	680,832	0	2,300,048
委託料収入	0	0	0	0	0	400,000	0	0	0	858,316
寄付金収入	0	3,300,000	0	250,000	0	20,000	0	0	0	0
収益事業等収入	0	1,830,531	0	1,592,375	0	2,301,940	0	2,082,066	0	1,771,419
雑収入	30,000	34,896	30,000	41,077	30,000	838,131	30,000	26,192	30,000	24,373
収入計(A)	149,078,000	160,336,730	149,078,000	164,814,065	149,078,000	155,016,066	149,078,000	157,754,813	149,078,000	158,741,753
支出計(B)	149,078,000	148,587,356	149,078,000	134,086,927	149,078,000	134,696,163	149,078,000	134,766,107	149,078,000	147,072,287
事業収支A-B	0	11,749,374	0	30,727,138	0	20,319,903	0	22,988,706	0	11,669,466